2004年（平成16年）8月4日（水曜日）
（平成5年7月19日第3種郵便物認可）
（日刊）わかやま新報

盲目の台湾青年

許哲誠君ピアノリサイタル

6日和歌山YMCA会館 和歌山東南RC主催

ピアノに向かう許哲誠君

「素晴らしい感動をお分かち合おう」――。台湾の台北東南ロータリークラブと、二十年以上活発な交流を続けている、和歌山東南ロータリークラブ主催の盲目の台湾青年、許哲誠君ピアノリサイタル」が六日、和歌山市太田の和歌山YMCA会館で開かれる。

許哲誠君（18）は先天的視覚障害を持って生まれたが、特に音楽的に秀でた才能を持っており、現在は台北東南ロータリークラブなどの支援によりプロの演奏家を目指してウイーンに留学している。

プログラムは、ベートーヴェン「ピアノソナタ〈悲愴〉」、ショパン「幻想即興曲」「バラード」「スケルツォ第二番」、ドビュッシー「月の光」、シューベルト「即興曲」、台湾民謡「天黒黒」など。

開演は午後七時（六時開場）。入場券（支援券）は千円で、コンクラブ（☎073・423・3666）。

ニュース和歌山　2004年（平成16年）7月28日　水曜日　（4）

8月6日 和歌山YMCA

盲目の台湾人ピアニスト許哲誠さん（写真）のリサイタルが八月六日（金）午後七時から、和歌山市太田の和歌山YMCA六階で開かれる。和歌山東南ロータリークラブ許哲誠君支援会主催。

許さんは先天的視覚障害があるが、三歳の時から祖父が歌う歌をすべてピアノで弾くなど音楽的な素養に恵まれ、八歳から本格的にピアノを学び始めた。二〇〇〇年にアメリカのコンテストで優勝し、昨年からはウィーンに留学。今年五月にイタリア大統領銀メダル賞を獲得し、国際的に高い評価を集めている。

リサイタルでは、ベートーベンの「ピアノソナタ第八番ハ短調作品一八「悲愴」」やショパンの「幻想即興曲嬰ハ短調作品六六」、ドビュッシー、シューベルトを演奏する。

入場券千円。和歌山東南ロータリークラブ（073・423・3666）で販売している。

◇　◇

同リサイタルの招待券を読者五人にプレゼントします。希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書いて、〒640・8570ニュース和歌山編集部「許哲誠」係へ。七月三十日締め切り。当選発表は発送をもって代えます。

盲目の台湾人ピアニスト

許哲誠さんリサイタル

（平成5年7月19日第3種郵便物認可）
2004年（平成16年）8月10日（火曜日）
（日刊）わかやま新報

盲目のハンディ乗り越え

許哲誠君ピアノリサイタル

心を込めて演奏する許哲誠君
（和歌山市太田の和歌山YMCA会館で）

和歌山東南RCが主催

美しい調べ聴衆魅了

台北東南RCと連携で実現

台湾の台北東南ロータリークラブと二十年以上姉妹クラブの交流を続けている、和歌山東南ロータリークラブ主催の「盲目の台湾青年・許哲誠君ピアノリサイタル」が六日、和歌山市太田の和歌山YMCA会館で開かれた。

許哲誠君（18）は、先天的視覚障害を持って生まれたが、音楽的に秀でた才能があり、八歳の時、盲学校に入学して正規のピアノ教育を受け始めた。

音楽専門学校在学中に、国内外のコンクールなどで上位入賞し、現在はオーストリア国立グラス音楽大学に留学中。

今回のコンサートは、許君の将来を期待して支援し続けている台北東南ロータリークラブから、和歌山東南ロータリークラブに「夏休み中に帰国した機会に、ぜひ日本での「リサイタル開催を…」との打診があり実現した。

プログラムは、ベートーヴェンの「ピアノソナタ悲愴」や、ショパンの「幻想即興曲」「スケルツオ」「バラード第三番」、ドビュッシーの「月の光」のほか、台湾民謡の「天黒黒」や台湾映画曲の「小城故事」など。アンコール曲は「浪速節だよ人生は」で、リズミカルな演奏を披露した。

心を込めて奏でられる美しい調べに、約二百五十人の来場者らは一曲終わるたびに大きな拍手を送っていた。

今回のコンサートの収益金は、許哲誠君に支援金として贈呈された。

許君は「皆さんの温かい支援に、心から感謝しています。夢は、一生懸命に勉強して立派なピアニストになること。世界中の人と音楽で感動を共にしたい」とにこやかに話していた。